

昨日正体不明のエレミアンから
「属性力（エレメーラ）」の回収した総二に異変が発生する。朝目覚たら
自分の意志に反して変身していたのだ。以前に経験した状態とは違う、
体の奥底から何かドス黒し甘美な感情が湧き上がるのを感じるのであった…

ツ
イ
ナ
イ
ト
メ
ル
ア

うう、なんでだよおー！
この前はちゃんと戻れたのに！ それに…
なんだこの感覚…♡♡♡
前はこんなじゃなかった…やだ♡♡
あ…お…おま〇こから…あ、あふれて…
止まらない♡♡♡

ゆ、ゆび！やめられないよお♡♡♡
きもちいい… もっと、もっと強い…♡
こんなのじゃ…足りないよお…♡♡♡
(お、おれ、何言ってるんだ？
…でもからだか勝手に…♡♡♡ 頭じゃわかつ
てるのに…なんで…俺…
わ、わたし…♡♡♡)



ん

あーん

あーん

ぐんぐん

んちゅん

湧き上がった欲望に支配された総二は淫靡な感情と性への飢えを満たすために夜の街へ足を運ぶ
公園の公衆便所にレッドのまま堂々入り
偶然中にいた男を個室にと連れ込む……



私今とってもエッチな気分なの♡♡♡♡♡
ちよっとお前のザー○ンいたただくわね♡♡
うわ、くっさいお前の包茎ち○こ
臭すぎ♡♡ もしかして童貞？
まあ私もかぁフッフフなんでもない♡♡

フッフッフ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

はぁはぁ♡

はぁはぁ♡

ブルー壺



うわー♥♥♥♥♥ すごい勢いだな♥♥♥♥♥
お前ザー○ンためすぎ♥♥♥♥♥ さすが童貞♥♥♥♥♥
わたしの大事なツインテール汚したら、
ち○こ噛みちぎってたわあ♥♥♥♥♥ 匂いもくっさーい♥♥♥♥♥
フフフ、濃いザー○ンごちそうさま♥♥♥♥♥
それじゃあ次は…フフフフ♥♥♥♥♥

あん♡♡

ああん♡♡

びびんねねね♡♡

はあはあ♡♡

ん♡♡

ん♡♡



ほらほら、さっさと横になれよ♡♡♡
今度は私が動いてあげる♡♡♡
お前のぬるい腰テクじゃ♡♡♡
私は満足できないんだ♡♡♡
クソ童貞の包茎ち○ぽが初めてで♡♡♡
ここまでやってもらえるんだから♡♡♡
男として本望だろ？♡♡♡
ああ、私も味わいたかったなら♡♡♡
その分女を楽しんでやるんだから♡♡♡

うふふふ♡♡♡

あは

あはは♡♡♡
あはは♡♡♡

ぐちん

ぐちん

ああん♡♡

ああん♡♡

ああん♡♡
ああん♡♡

あああん♡♡このカラダ最高おお♡♡♡
 女のカラダサイコおお♡♡♡
 おっぱいも♡おま○こも♡♡♡
 カラダのぜんぶがきもちいい♡♡♡
 あああん♡♡あああん♡♡♡
 もう戻れないわあ♡♡♡
 こんなの知ったらあ♡♡♡
 男になんか戻れない♡♡♡

グチョ♡♡

グチョ♡♡
グチョ♡♡



こうして「闇堕ち属性」を完全にカラダへ取り入れたテイルレッドは
身も心も完全に女となり淫らな快楽の虜になったのだった…
彼女の幼くも妖艶で美しく笑い声はかつて自身が救った街に、
不穏と卑猥な空気とともに響き渡るのであった…

彼女はもう以前巷で人気だった
「テイルレッド」ではない…
今夜も闇に潜んで男をさらい、
女をさらい。自らの快楽に溺れる…
人々はそんな淫らで官能な彼女の姿を
「テイルクリームゾン」と呼んだ…



今日の男のち○ぽはまあまあなサイズね♡
ふふふふ♡♡♡
どお〜お? こんな元男の小娘に大の男が
ち○こいじられてる気分は♡♡♡
傑作ね♡♡ クスクス♡♡♡
でさあ、お前はこれからどんな声で鳴い
てくれるのかなあ? ふふふ♡♡♡ 私を
満足させられなかったら
許さないんだからね♡♡♡



